GESSHIN 9

2025 Sep

Vol.3

Governors Monthly Letter

2025-2026 Rotary International District2630

基本的教育と識字率向上月間

CONTENTS

基本的教育と識字率向上月間 …… 2
活動事業報告 …… 5
第2630地区　会員数報告 …… 9
第2630地区　会員動静報告/ロータリー文庫 …… 10

Rotary D2630

表紙：石取祭・石取御神事（ユネスコ無形文化遺産）
提供：桑名市観光協会

2025-2026 年度
国際ロータリー第2630 地区ガバナー

玉野　英美（桑名北RC）

暑くて厳しい夏も終わり、少しずつ秋らしさを感じる季節になってきました。朝晩の空気もやわらぎ、虫の声や涼しい風に、季節の移り変わりを感じます。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

さて、9月は「基本的教育と識字率向上月間」とされています。この期間は、世界中のすべての人が教育を受け、読み書きができるようにすることの大切さに目を向ける月です。

世界には、まだまだ教育を受けられない子どもたちや、文字の読み書きができない大人が多くいます。私たちにとって「学校に通うこと」や「字が読めること」は当たり前のように思えるかもしれませんが、そうではない国や地域がたくさんあるのです。

教育は人々の暮らしを大きく変える力を持っています。たとえば、すべての女性が小学校を卒業すれば、妊娠や出産のときに命を落とす確率が大きく減ることがわかっています。具体的には、妊婦の死亡率が約66％も減るというデータがあります。また、読み書きのできる母親を持つ子どもは、5歳まで生き延びる確率が約50％も高いという調査もあります。このように、教育は命を守り、健康を支える力にもなります。

現在、世界には15歳以上で読み書きができない人が約7億7500万人います。これは全世界の大人の17％にあたります。また、学校に通えていない子どもも、約6700万人いるとされています。これらの数字は、いかに多くの人が基本的な教育の機会を持てていないかを示しています。

ロータリーでは、こうした現状を改善するために、地域に根ざした学校づくりの支援や、男女の教育格差の解消、大人向けの読み書き教室の設立など、さまざまな取り組みを行っています。地域の人々が自分たちで教育の場を支えられるようになることを目指しているのです。

「読み書きを教えることは、その人の一生を支えるスキルを教えること。その恩恵は一人から始まり、やがて地域全体に広がっていく」と語ったのは、教育支援に関わるMark Wilson氏です。この言葉の通り、一人の力が、やがて周りの人たちを動かし、地域社会を変えていく可能性があるのです。

教育への支援は、ロータリーの7つの重点分野のひとつである「基本的教育と識字率向上」だけにとどまりません。たとえば、「母子の健康」や「疾病予防と治療」といった他の重点分野とも密接に関係しています。教育を受けることで、衛生や健康についての知識が広まり、病気を防いだり、健康的な生活ができるようになるからです。

国際ロータリーやロータリー財団では、長年にわたりこのような「教育の連鎖」を広げるための活動を続けています。私たちの第2630地区でも、東南アジアやアフリカなど、教育が十分に行き届いていない地域に対して、いくつかのクラブが支援を行ってきました。中には、現地の子どもたちに奨学金を提供し、高校や大学といった高等教育の機会まで広げているクラブもあります。

こうした活動を通じて、教育を受けた若者たちが大人になり、社会で活躍するようになれば、その地域の未来はきっとより良いものになるでしょう。そうして世界全体の平和や発展に少しでもつながるのなら、これほど喜ばしいことはありません。

9月8日は「国際識字デー」です。私たちにとって当たり前のことでも、世界ではそれが当たり前でない人がたくさんいます。そんな人たちに目を向け、何ができるかを考えてみましょう。

各ロータリークラブでも、教育支援につながる活動に積極的に取り組んでいただきたいと思います。また、グローバル補助金や地区補助金などの制度も、ぜひ有効に活用してください。教育支援の輪がさらに広がり、多くの人の未来が開かれていくことを願っています。

国際奉仕委員会　委員長

野地　俊行（熊野RC）

「基本的教育と識字率向上月間」を考える

21世紀に入り、ユネスコなど国際機関の積極的な支援のもと、各国で初等教育へのアクセスが大きく改善されてきた。多くの国で就学率は向上し、識字率も全体的に上昇している。世界銀行によると、2020年時点で、低所得国でも初等教育へのアクセスは平均で約78%に達している。特に女子教育への取り組みが進み、かつて教育を受ける機会が限られていた地域の女性や少女たちも学校に通えるようになりつつある。しかし、こうした前進にもかかわらず、まだ多くの課題が残っている。識字率が向上しているとはいえ、約7億人以上の成人が読み書きできず、そのうちの約3分の2は女性である。又、識字率の格差は地理的、経済的、文化的な要因によって顕著である。特にサハラ以南のアフリカや南アジアでは、教育施設の不足、教員の質や数の不足、教材の不備が重大な問題となっている。例えば、農村地域では学校までの距離が遠く、交通手段も限られているため、通学そのものが困難なケースが多いし、教員1人当たりの生徒数が極端に多く、個別対応が難しい現場も多く見られる。このような環境では、たとえ就学しても十分な教育を受けることができず、「形式的な就学＝識字能力の獲得」とはならない。識字率の統計では見えづらい、学習の定着度や理解力の差も課題として浮かび上がってくる。

教育の質を向上させるためには、単に施設や教員を増やすだけでは不十分である。教育内容の充実、カリキュラムの地域特性への適合、学習環境の整備など、総合的な取り組みが求められている。しかし、予算や制度の制約により、こうした改善が進まない国も少なくない。さらに、家庭の経済状況が教育の継続を阻むケースも多い。子どもが家計を支えるために労働に従事し、結果として中途退学を余儀なくされる事例は後を絶たない。また、教育を軽視する社会的・文化的価値観も、識字率向上の障壁となっている。

ではこのような状況の中で、更に基本的教育と識字率の向上をする為には、どのようなことが考えられるか。例えば、１）地域に根差した学校づくりと、交通インフラの整備、２）教員の育成と待遇改善による教育の質の向上、３）家庭や地域との連携を通じた教育の継続支援、４）デジタル教育を活用した遠隔教育の普及、等が挙げられる。ロータリーには世界的なネットワークがあり、対象国で信頼できる友を作り、その友と現地特有の問題を解決の為に出来ることを考え、実行してみてはいかがでしょうか。

ロータリーの友月間

国際ロータリー第2630地区
ロータリーの友 地区代表委員

城田　佳武（桑名北RC）

ロータリーの友は一般社団法人ロータリーの友事務所（社員１０人）が各地区代表委員と連携しながら毎月日本全国にいるロータリアン８５０００人の為に発刊される媒体でございます。

ロータリーの友は国際ロータリーの許可を受けRI世界本部発行の機関雑誌です。「友」はロータリアンがロータリーライフを深めるため、そしてクラブがRIとのつながりを実感するためにも必要な媒体です。

２０１３年の規定審議会の決定により、会員は印刷版か電子版かのいずれかを選択して購読することが出来るようになりました。それを受けて、ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所では、２０１４年1月号から電子版を発行し２０２２年7月号から印刷版と電子版を選択して購読することができるようになりました。

2025-2026年度第２６３０地区玉野英美ガバナー（桑名北RC）が輩出され、我が桑名北RCも大変忙しくなりました。当クラブ全員で玉野年度を支えるため、メンバーの多くが地区委員に輩出され、それぞれが与えられたポジションを全力で取り組んでおります。

私の場合は、ロータリーの友地区代表委員は東京での勉強会・各種会議が多いこともあり、東京好きなこともあり地区代表幹事より直々に名を受け選出されました。また自分自身も広告会社を経営しており、冊子の発刊までの流れは理解できていることもあったと理解しております。

現在私ども第２６３０地区が担当するのは「NEW　GENERATION」。ロータリーに関わった若者を取材し、活動内容をまとめロータリーの友事務所に提出することです。その中で津田学園高校インターアクト部を取材させていただき、日頃の活動内容をまとめ提出させていただきました。

この「NEW　GENERATION」も全国の数地区からの選抜で、1地区のみ掲載となるので実際掲載されるのは狭き門ですが、是非津田学園インターアクト部の活動を紹介したく全力取材で挑み手ごたえは強いものがあります。

またこの他にも第２６３０地区のロータリークラブでの活動を多く取材して、ロータリーの友に掲載していただけるよう皆様とコミュニケーションをとりながら、少しでも多く第２６３０地区がロータリーの友に掲載できるようにしていきたいと考えております。

ロータリー財団研修セミナー

ロータリー財団部門委員長　加瀬　久照（津RC）

地区ロータリー財団委員会は地区内クラブと関係者を対象にロータリー財団のセミナーの担当をしています。その1つでありますロータリー財団研修（補助金管理）セミナーを7月26日に、残念ながら1クラブの当日欠席がございましたが、地区内Eクラブを含め73クラブ105名、総勢149名にて岐阜グランドホテルで開催いたしました。

このセミナーはクラブの覚書（MOU）の締結と並び補助金事業に参画するには出席が義務となっており、補助金事業を考えていない年でも地区での災害救援や奨学生の受入れなどに必要不可欠で、ご欠席のクラブにもガバナー補佐様のもと補講にてレポート提出いただき地区一丸となり足並みをしっかり整え準備していきたいと思います。

尚2026-2027年度ロータリー財団研修（補助金管理）セミナーは2026年7月25日（土）岐阜グランドホテルにて開催予定です、各クラブ会長エレクト・次期幹事の皆様ご予定のほどよろしくお願いいたします。

また、次期に補助金事業をお考えの皆様に対しまして補助金活用セミナーも10月25日開催予定しており、案内いたしますのでご希望クラブはご活用ください。

ロータリアンのご寄付、年次基金寄付や恒久基金寄付など、3年後に当地区へ補助金として活用できる仕組みを理解して、地元地域から国際支援先までのプロジェクトを計画し実践する仕組みを支援するためのセミナーで、変化の激しい昨今ロータリー財団の最新情報を提供させていただき共有いたしました。

ロータリー財団を理解して各クラブでの活動につなげ、ロータリークラブとしての役目と各クラブのチャレンジをお願いすると共にご期待申し上げます。

25-26 年度
第一回米山記念奨学委員会＆卓話研修会

米山記念奨学委員会委員長　長谷川　隆志（岐阜東RC）

7月13日（日）名古屋市の安保ホールにて、25-26年度第一回米山記念奨学委員会と今年度の米山奨学生の卓話研修会が開催されました。7月からの玉野英美ガバナー年度最初ではありますが、米山記念奨学事業は、4月から翌年3月末までとなっているため、4月から6月末までは、亀井喜久雄パストガバナー年度とも重なっております。

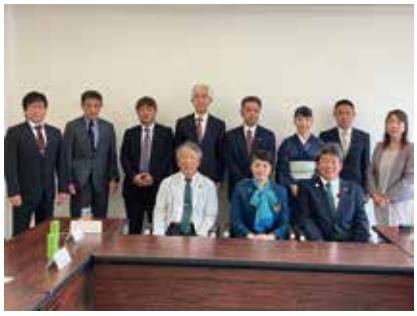
さて、10月はロータリー米山月間のため、奨学生たちが色々なクラブに呼ばれて卓話をする機会でもあります。自身の事、家族の事、母国の事、大学でどの様な勉強研究に取り組んでいるのか、卒業後の事等をロータリアンの皆さまにお話しする事により、米山事業について理解し賛同していただけるようになれば幸いです。今後も卓話の受付はいたしておりますので、是非ご活用ください。

郡上八幡 RC・郡上長良川 RC ガバナー公式訪問合同例会レポート

東海北陸道グループ　ガバナー補佐　喜久生明男（関中央RC）

2025年7月17日、雨の中、郡上市産業プラザにて、玉野英美ガバナーの最初の公式訪問（地区代表幹事の安田健三さんも同行）が始まりました。清流長良川は濁流長良川と表情を変えてのお迎えでしたが、両クラブ会員の心は晴れて穏やかでした。

RIのメッセージ「よいことのために手を取りあおう」を受け、玉野ガバナーから地区の活動方針として「RISE with ROTARY ~地区と地域の未来を考えて~」と紹介されました。地域に根ざした奉仕活動の実践にてロータリーの公共イメージと認知度の向上を図り、元気で楽しいクラブ作りがクラブの活性化、会員の向上心や帰属意識を高め、会員増強に繋ぐという玉野ガバナーの卓話を聴きました。



郡上八幡RCは郡上踊りの際にポリオ募金、踊り後の清掃活動を行なっており、郡上長良川RCは白鳥踊りに地元の高校生が企画&演出した「白鳥踊りフェス」（7月25日限定）を主催し、中学生から大人までを巻き込んだ地域の団結と伝統の継続を支えていました。両クラブの地域に根ざした活動は他クラブにも大いに参考になる活動だと思われました。両クラブは年度初めにはお互いのクラブを最初に訪問する間柄ですので、会員間も和気あいあいとした公式訪問でした。

松阪・東紀州グループ ガバナー公式訪問合同例会レポート

松阪東紀州グループ　ガバナー補佐　野田隆代（尾鷲RC）

７月２３日に、ガバナー公式訪問を１２時３０分から松阪、松阪東、松阪山桜の３クラブ合同で行い、そのまま休む間もなく８０km離れた尾鷲へ、午後7時から尾鷲、熊野２クラブ合同の公式訪問を行いました。

昼例会の松阪３クラブはそれぞれに特徴があり、今回幹事をされた松阪RCは歴史も古く会員数も７５人と大所帯です。そして全員男性です。それとは逆に松阪東RCは地区の中で一番女性会員が多いです。松阪山桜RCは例会が夜なので昼の例会には参加できないメンバーの受け入れ先になっています。そのバランスのよい住み分けは会員増強でも助け合いできる事でしょう。

公式訪問例会は松阪RC篠田会長のユーモアたっぷりの挨拶で始まり、私の拙い話を挟み、ガバナーのお話へと進みます。実は今年のAGはクラブ訪問の為にガバナーからプレゼン用のスライドをいただいており、私はそのスライドを使ってすでに５クラブ中４クラブでの卓話が終わっていましたので、同じ内容になるのではないかと心配しましたが、新ネタを交えて面白く、見事な内容でした。

午後7時からの尾鷲熊野合同例会は、私自身が慣れた場所なので緊張感もなく、無事に終わることだけを願いました。玉野ガバナーは前年度の内に今年度AGの所属クラブを全部訪問するという画期的な事をやりましたが、私の所属する尾鷲RCも3月に来ていただいています。そのため尾鷲のロータリアンとはすでに顔見知りでしたが、今回の2次会では熊野のロータリアンともバッチリ親しくなりました。

楽しい一日をありがとうございました。心残りと言えば、松阪の夜も楽しんでほしかった事でしょうか。

地区大会企画会議

地区大会実行委員長　柴田佳幸(桑名北RC)

2025年7月6日　名鉄グランドホテルにて国際ロータリー第2630地区地区大会企画会議を開催しました。
玉野ガバナーはじめパストガバナー・AG・CC・地区代表幹事・地区幹事出席のもと大会概要を実行委員長が説明。

来たる、11月8日9日、両日に開催『 Let's enjoy 地区大会 in 桑名 』をスローガンに掲げ、国際ロータリー第2630地区の地区大会を開催する運びとなりました。内容といたしましては、あまり派手な演出はさけて地区大会としての意味合いの濃い企画を考えております。

大会初日は本会議と愛知工業大学付属名電高等学校の吹奏楽部による記念演奏会。夜には大晩餐会を開催、例年ですと会長・幹事までと言う縛りがありましたがクラブ会員であればご希望の方はどなたでも出席可能です。74クラブが一同に集まるこの機会にぜひご出席いただき国際ロータリー第2630地区の絆をより強くするためにも一人でも多いご参加を要請。今期はRI会長代理をお呼びいたしません。理由としては人選に非常に時間がかかり大会要覧の作成が間に合わない規定審議会において地区大会を毎年開催する要件が削除されたこと。であるならば我々のやりやすいやり方で地区大会にふさわしい方を検討し人選させていただいた結果、
国際ロータリー第2地域　2023 ～ 26年度公共イメージコーディネーター　七尾RC　神野正博パストガバナーに快諾を頂きました。

2日目には本会議と神野正博パストガバナーによる基調講演。そして、山梨県出身の元国際親善奨学生第5280地区　アメリカ　グランデールRC　中曽根牧子パストガバナーによる記念講演が決定しており両名とも素晴らしい経歴をお持ちの方で貴重な講演を頂けると思います。

玉野年度の地区大会は、絆とつながりをテーマに入れておりそのテーマをもとに桑員グループの4つのクラブとインターアクトクラブそして学友の皆さんのお力をお借りして手作り色の濃い大会にしたいというのが今大会のコンセプトとなっております。

どうか多くの方の御登録と御出席をいただきますことを切にお願い申し上げ地区大会会場でお会いできますことを願っております。

岐阜東ロータリークラブ「平和宣言」の会

岐阜東ロータリークラブ創立55周年プレイベントとして7月9日に岐阜市美江寺公園にて植樹をいたしましたイチョウの木の前で、「平和宣言」を行う会を開催いたしました。

当日は柴橋正直岐阜市長と堀江大典岐阜Bグループガバナー補佐お迎えし、平和について改めて考える素晴らしい機会となりました。

平和宣言

今年もまた、7月9日が巡ってきました。あれから80年の歳月が過ぎています。

今日における私たちの日常は、先の岐阜空襲で被害に遭われた方々の尊い犠牲と苦労のうえに成り立っていることを忘れてはおりません。

せめて一日が無事で終われることだけを祈る日々であった中で、130機の米軍B29が飛来して1万発以上の焼夷弾が投下され、岐阜の市街地は瞬く間に火の海となり、その7割に当たる家屋2万戸以上が消失してしまい、一夜にして焼け野原と化しました。死者約900人、負傷者1000人以上、罹災者最大10万人にも及んだことになります。市民が戦争の巻き添えを被ることがあってよい筈はないのです。

旧岐阜市庁舎も焼けただれて使えなくなり、その玄関先で建物の安全を守ってきたイチョウの木が、その身に砲弾の貫通を受け、殆どが空洞になり果てながらも、力強く生命力を維持して焼け残り、その姿・生き様は多くの市民に感動と希望を与えてきました。まさに、「平和の特使」たる役割を進んで引き受け、岐阜市の復興を見届け、今なお、戦争にはどこに正義があるのかを問い続けています。戦争の惨苦や反人道を語り継ぐ世代の人たちが殆どいなくなっても、岐阜市美江寺公園の戦災樹木イチョウは、一人歴史の証人として、過去の物語を紡いできています。

我々岐阜東ロータリークラブは、2000年6月、岐阜市梅林公園に「平和の誓い」モニュメントを建立し、ロータリーの綱領が示す、国際理解と親善の下で「平和」を推進するべく、「四つの誓い」を内外に表明したことがあります。これと同じ熱い想いから、先に戦災樹木イチョウを顕彰し、会員一同が平和を守る決意を新たにして、その傍らにイチョウの若木を植えて未来永劫にそのメッセージを伝承させることにしました。平和はやすらぎであり、万人が無条件のうちに希求してやみません。

ここに、戦争の犠牲になられた全ての御霊に心から哀悼の意を表すると共に、恒久平和に貢献することを目指して、「平和宣言」を行い、自分たちの未来は自らの手で創ることを約束します。

2025年7月9日　岐阜東ロータリークラブ　会長　安江利之　　会員一同

財団地区補助金プロジェクト「白鳥おどりフェス」開催

郡上長良川RC　会長　佐藤　備子

7月25日（金）、財団地区補助金プロジェクト「白鳥おどりフェス」を開催しました。本プロジェクトは「白鳥おどりの発展と推進」を目的に、高校生の熱意と創意を形にしたもので、地域団体とも協力し、何度も意見交換を重ねて準備を進めてきました。

中心となったのは、地元高校生6名で構成された「元祖踊リーダー部」。彼らは白鳥踊り保存会の皆さまから歌やお囃子を丁寧に学び、フェス当日の最後30分間には中高生によるお囃子演奏で会場を盛り上げ、踊りの輪を大きく広げました。まさに伝統と未来が交差する感動的なひとときとなりました。

来場者数は1,800人（前年比+700人）と大きく増加。玉野ガバナー、安田地区幹事、辻パストガバナー、姉妹クラブの加賀中央ロータリークラブの皆さまにもご来訪いただき、賑やかな交流の場ともなりました。

会員は、ロータリー特製手ぬぐいや光る下駄アクセサリーの配布、ポリオ募金、縁日ブースの運営など、それぞれの役割をしっかりと果たし、出席率96％を達成。地域と青少年の力を結集した本プロジェクトは、クラブのイメージアップができた事業となり大きな成功となりました。

国際ロータリー第 2630 地区　会員数報告　2025年7月分

グループ	クラブ	例会数	会員数 期首	女性	月末	月末女性	増	減
岐阜A	岐　阜	4	81	1	82	1	1	0
	岐 阜 西	3	40	0	41	0	1	0
	岐 阜 長 良 川	2	36	0	39	2	3	0
	岐 阜 北	4	27	2	27	2	0	0
	岐 阜 中	3	22	1	22	1	0	0
	グループ計		206	4	211	6	5	0
岐阜B	岐 阜 南	4	87	10	88	10	1	0
	岐 阜 東	4	42	2	43	2	1	0
	岐 阜 東 南	3	30	3	29	2	0	1
	岐 阜 加 納	4	74	2	74	2	0	0
	岐 阜 エ ト ス	2	12	3	13	3	1	0
	岐 阜 城	4	19	1	19	1	0	0
	グループ計		264	21	266	20	3	1
岐阜西濃	大　垣	4	88	3	90	3	2	0
	大 垣 西	4	83	1	87	1	4	0
	本　巣	3	21	1	21	1	0	0
	羽　島	4	35	3	35	3	0	0
	不　破	3	20	1	20	1	0	0
	大 垣 中	3	59	3	59	3	0	0
	大垣センチュリー	3	53	4	54	4	1	0
	岐 阜 淡 墨	4	16	2	16	2	0	0
	岐阜サンリバー	3	17	4	17	4	0	0
	グループ計		392	22	399	22	7	0
岐阜東濃	多 治 見	4	57	4	57	4	0	0
	中 津 川	4	70	4	71	4	1	0
	瑞　浪	3	60	1	63	1	3	0
	恵　那	3	51	4	54	4	3	0
	土　岐	3	38	3	39	3	1	0
	多 治 見 西	4	35	2	37	3	2	0
	中津川センター	3	58	2	60	2	2	0
	多治見リバーサイド	4	55	3	55	3	0	0
	グループ計		424	23	436	24	12	0
東海北陸道	美　濃	3	21	0	21	0	0	0
	各 務 原	3	39	5	39	5	0	0
	関	3	41	2	42	2	1	0
	郡 上 八 幡	4	38	2	38	2	0	0
	関 中 央	3	27	0	27	0	0	0
	郡 上 長 良 川	4	29	5	30	6	1	0
	グループ計		195	14	197	15	2	0
濃飛	高　山	4	32	0	34	0	2	0
	下　呂	4	33	3	35	4	2	0
	高 山 西	3	38	2	39	2	1	0
	美 濃 加 茂	4	42	5	43	5	1	0
	可　児	3	42	1	42	1	0	0
	高 山 中 央	3	52	2	56	2	4	0
	グループ計		239	13	249	14	10	0
	岐阜合計		1,720	97	1,758	101	39	1
	地区合計(74)		3,018	216	3,066	221	53	5

グループ	クラブ	例会数	会員数 期首	女性	月末	月末女性	増	減
桑員	桑　名	3	33	1	33	1	0	0
	桑 名 西	3	28	2	28	2	0	0
	桑 名 中 央	3	29	3	29	3	0	0
	桑 名 北	3	31	7	31	7	0	0
	グループ計		121	13	121	13	0	0
四日市	四 日 市	5	88	3	90	3	2	0
	四 日 市 北	4	21	4	22	4	1	0
	四 日 市 西	4	74	6	75	6	1	0
	四 日 市 南	3	27	4	26	4	0	1
	四 日 市 東	3	32	0	31	0	1	2
	グループ計		242	17	244	17	5	3
鈴鹿・亀山	鈴　鹿	4	63	7	63	7	0	0
	鈴 鹿 西	4	25	5	25	5	0	0
	鈴 鹿 ベ イ	2	6	0	6	0	0	0
	亀　山	3	10	1	10	1	0	0
	鈴 鹿 シ テ ィ	5	68	3	68	3	0	0
	グループ計		172	16	172	16	0	0
中勢・伊賀	津	5	62	1	64	1	2	0
	上　野	4	38	4	38	4	0	0
	名　張	3	42	2	42	2	0	0
	津　南	4	45	2	47	2	2	0
	津　北	5	53	4	55	4	2	0
	上 野 東	4	36	3	37	3	1	0
	久　居	3	26	4	27	5	1	0
	名 張 中 央	3	19	2	19	2	0	0
	グループ計		321	22	329	23	8	0
松阪・東紀州	松　阪	5	75	0	75	0	0	0
	松 阪 東	4	68	14	67	13	0	1
	熊　野	3	32	4	32	4	0	0
	尾　鷲	4	12	2	12	2	0	0
	松 阪 山 桜	5	31	3	31	3	0	0
	グループ計		218	23	217	22	0	1
伊勢・鳥羽・志摩	伊　勢	3	47	0	47	0	0	0
	鳥　羽	4	28	3	28	3	0	0
	伊 勢 南	4	37	4	37	4	0	0
	志　摩	4	42	12	42	12	0	0
	伊 勢 中 央	3	46	0	46	0	0	0
	伊 勢 度 会	4	17	6	17	6	0	0
	グループ計		217	25	217	25	0	0
	三 重 合 計		1,291	116	1,300	116	13	4

みえぎふEテラス	5	7	3	8	4	1	0

2024年7月(前年度)会員数報告	期首	女性	月末	月末女性	増	減
三重県合計(33)	1,314	112	1,338	112	27	3
岐阜県合計(40)	1,731	95	1,772	99	44	3
地 区 合 計(73)	3,045	207	3,110	211	71	6

会員動静報告（敬称略）

2025年7月分

新入会委員

岐阜RC

永田 孝治

2025.7.11入会
電気設備工事

岐阜西RC

田中 政考

2025.7.28入会
建設業

岐阜長良川RC

西尾 正吾

2025.7.5入会
普通銀行

岐阜長良川RC

川島 亜也

2025.7.5入会
日本料理

岐阜長良川RC

日比野 有里

2025.7.12入会
飲食業

岐阜南RC

淵 友佑

2025.7.3入会
損害保険

岐阜東RC

嘉藤 智紀

2025.7.1入会
生命保険業

岐阜エトスRC

各務 裕一

2025.7.14入会
繊維工業

大垣RC

宇佐美 憲邦

2025.7.9入会
土木

大垣RC

山田 崇伸

2025.7.9入会
自動車教習所

大垣西RC

伊藤 貴夫

2025.7.8入会
建設請負業

大垣西RC

川合 卓哉

2025.7.8入会
建築内装工事

大垣西RC

大橋 竜世

2025.7.8入会
解体業

大垣西RC

佐竹 祐志

2025.7.8入会
金属製品加工

大垣センチュリーRC

平野 創

2025.7.7入会
エキスパートライフパートナー

中津川RC

石原 徹

2025.7.3入会
電気工事業

瑞浪RC

佐藤 浩一

2025.7.4入会
建築業

瑞浪RC

安藤 匡貴

2025.7.4入会
不動産業

瑞浪RC

佐野 友哉

2025.7.11入会
食品製造

恵那RC

加藤 規久

2025.7.1入会
精密機器製造

恵那RC

渡邉 好作

2025.7.1入会
食品加工業

恵那RC

藤井 泰徳

2025.7.15入会
普通銀行

土岐RC

山内 英次郎

2025.7.7入会
焼肉料理

多治見西RC

太田 貴裕

2025.7.3入会
卸売業

多治見西RC

橋本 僚子

2025.7.3入会
飲食業、着物レンタル業

中津川センターRC

岩本 真史

2025.7.7入会
観光業

中津川センターRC

原 優輝

2025.7.7入会
運送業

関RC

佐藤 宏樹

2025.7.5入会
人材コンサルタント

郡上長良川RC

有井 弥生

2025.7.1入会
キャリア支援

高山RC

手代木 智

2025.7.3入会
繊維品小売

高山RC

久保 儀一

2025.7.3入会
リゾートホテル

下呂RC

野村 勝

2025.7.15入会
旅館

下呂RC

曽我 眞由美

2025.7.15入会
米穀販売

高山西RC

見山 政克

2025.7.4入会
行政

美濃加茂RC

村瀬 守

2025.7.18入会
総合建設業

会員動静報告（敬称略）

新入会委員

高山中央RC

小林 幸平
2025.7.7入会
司法・行政書士

高山中央RC

上嶋 貞之
2025.7.7入会
生花業

高山中央RC

杉本 哲也
2025.7.7入会
建設業

高山中央RC

水野 義治
2025.7.7入会
弱電工事業

四日市RC

相良 智樹
2025.7.10入会
普通銀行

四日市RC

高橋 孝知
2025.7.17入会
生命保険

四日市北RC

黒田 信介
2025.7.8入会
電気工事業

四日市西RC

川島 一慶
2025.7.4入会
水素吸入器販売

津RC

藤森 宗高
2025.7.2入会
損害保険業

津RC

藤賀 亘史
2025.7.30入会
生命保険

津南RC

山﨑 計
2025.7.15入会
商業銀行

津南RC

北澤 浩二
2025.7.15入会
保険代理店

津北RC

樋口 雅也
2025.7.3入会
OA機器販売

津北RC

荒木田 豊
2025.7.3入会
クレジットカード業

上野東RC

山本 一雄
2025.7.3入会
広告・宣伝・サービス

久居RC

山名 明子
2025.7.14入会
介護サービス

みえぎふEテラスRC

古田 水穂
2025.7.1入会
商業デザイナー

逝去会員

四日市南RC

坂 照明
逝去2025.7.02
入会1990.4.12

2010～2011年度
会長・R財団
メジャードナー
米山功労者
メジャードナー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

お詫びと訂正

月信8月号14ページ　会員数報告について誤りがございました。
・鈴鹿西ロータリークラブ　6月末　会員数　23　⇒　(正)25　減　4　⇒　(正)2　謹んでお詫び申し上げます。

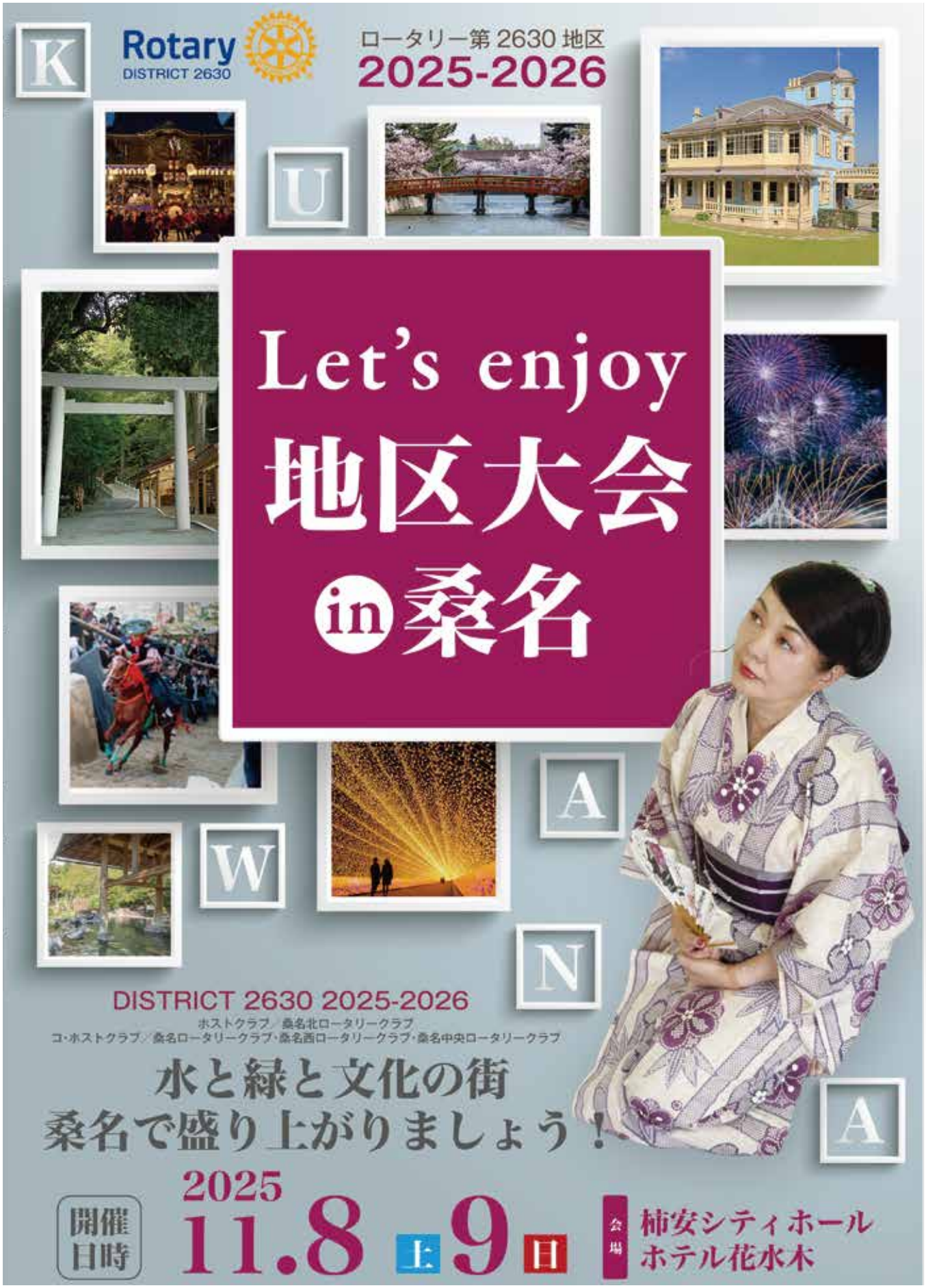
文庫通信　393 号：ポリオ

「記事抜粋「私の履歴書（第 18 回）」国際政治(ポリオ)」尾身茂（結核予防会理事長）/日経新聞 2025.3.29/1P
「ポリオ根絶への道 ―これまで、これから―」尾身茂（結核予防会理事長）/（D.2760 地区研修協議会）/2025/8P
「ポリオとロータリーと私」関邉慶博/（D.2580 地区大会）/2022/8P
「ロータリー活動から幸せを」松本祐二/（D.2580 地区大会）/2022/14P
「パキスタンでの予防接種活動（「世界でよいことをしよう」財団ワークショップより）」
高柳育行/（D.2510 地区大会）/2023/3P
「エンドポリオサイクリングチャレンジについて」宮崎陽市郎/（D.2580 地区大会）/2023/4P
「ロータリー研究会資料　第 4 セッション（世界ポリオデーイベント事例）」ロータリー研究会/2024/64P

※参考訳は RI 非公式であり、私的翻訳または AI 翻訳のため正確ではないこともございます。あくまで参考として「公式英文書」ご理解の一助としてご活用ください。なお、該当 PDF ファイルの末尾（-2.pdf）が参考訳です。

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013　東京都港区浜松町2丁目7番16号　第3小森谷ビル別館6階
TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506



2025-2026　地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務所案内

地区事務所
〒500-8212　岐阜県岐阜市日野南3-5-16　TEL:058-248-9724 FAX:058-248-9725　勤務時間：10:00～17:30（土・日・祝休務）

ガバナー事務所
〒500-8212岐阜県岐阜市日野南3-5-16　TEL:058-322-2630 FAX:058-248-9725　勤務時間：10:00～16:00（水・土・日・祝休務）

地区大会事務所
〒511-0068　桑名市中央町3丁目23番地桑名シティホテル4F内　TEL 0594-27-2800 FAX 0594-27-2801
※AM10：00-PM4：00（土・日・祝日を除く毎日）※PM1:00-PM5:00(木のみ)